

PRESS STATEMENT

UNAIDS プレス声明

UN 80 事務総長報告に関する UNAIDS プレス声明

2030 年までのエイズ終結に向けた取組の推進とその後の HIV 対策の継続に向けて
— UN 80 ビジョンのもとで UNAIDS はどう変わるのか

ジュネーブ、2025 年 9 月 19 日 国連事務総長は、自ら示した国連 80 周年改革構想 UN 80 の新たな進捗状況報告書「パラダイムの転換：結束して成果を上げる」を提示しました。UNAIDS は、この改革案への対応をプログラム執行理事会や関係者と協議します。事務総長も強調したように、UN 80 の改革については加盟国と統治機関が実施の方向性を決める必要があるからです。

UNAIDS は、事務総長の UN 80 ビジョンに基づいて活動しています。変革計画の策定についても UN 80 チームと協議を重ねてきました。UNAIDS 自身が移行過程にあり、国連システムの改革を先導できることを誇りに思っています。

新たな運用モデルおよび 2 段階からなる移行の道筋は、広範かつ包括的な協議プロセスによって策定され、2025 年 6 月の UNAIDS 理事会で承認されました。加盟国や市民社会組織、その他多様なステークホルダーで構成する『目的に合わせた強靱な UNAIDS 共同プログラムに関するハイレベル委員会』の勧告に基づくモデルです。2025 年 7 月には経済社会理事会（ECOSOC）が新たな運用モデルと移行プロセス提案を確認しています。

このモデルは UN 80 ビジョンに合致したもので、統合化と一貫性とインパクトのある国連開発システムを目指しています。2 段階の変革プロセスの第一段階は現在実施中です。第二段階は 2027 年に開始され、国連システムへのより完全な統合に繋がることになります。

第一段階では、UNAIDS 事務局のスタッフを 55%（661 名から 294 名に）削減しています。各

国の UNAIDS 事務所は 85 カ国から 54 カ国に統合され、その 54 カ国のうち 40 カ国では拠点の縮小が行われます。新たな配置に当たっては、HIV 陽性者の 80%が居住し、新規感染の 71%が発生している国々を支えるかたちをとっています。UNAIDS の上級コーディネーターの配置は、21 カ所の国連常駐調整官事務所（UNAIDS の管轄地域全体の 40%）に限定され、プログラムに関する専門家はナイロビ、ヨハネスブルグ、バンコクの地域拠点に集約されます。ジュネーブの UNAIDS 事務局スタッフは 80%を超える削減となりました。

第二段階については、理事会決定に基づく計画案を 27 年 6 月に提示します。この計画は、現行形態の UNAIDS 事務局の最終的な閉鎖を視野に入れ、更なる改革を進めるものです。共同スポンサーとの合併や統合、そして各国やアフリカ疾病管理予防センター（CDC）などの他の機関への一部機能の移管が含まれることになるでしょう。理事会決定に基づき、2027 年の経済社会理事会（ECOSOC）では共同プログラムに関する決議で、UNAIDS のマンドート（使命）が見直されることになります。

政府およびコミュニティの主導で、各国が国内資金を拡大しつつ、多部門にまたがる包摂的で持続可能な HIV 対策を進めることへの支援を UNAIDS は優先事項としています。エイズは終わっていません。世界のエイズ対策はここ数カ月で大きく変化しています。持続可能な開発目標（SDGs）の一つである「2030 年までのエイズ終結」を達成するには、さらに対応を強化する必要があります。

2025、26 年には新たな運用モデルの導入と合わせ、UNAIDS は、野心的な成果を目指す世界エイズ戦略 2026-2031 の策定、および 2026 年 6 月の HIV に関する国連総会ハイレベル会合で 2030 年 HIV ターゲットに関する加盟国の合意形成に力を入れていきます。UNAIDS は新規 HIV 感染の動向を決定的に変えることが可能な HIV 予防イノベーションの利用を確実にし、4000 万人を超える HIV 陽性者が治療への途切れないアクセスを確保し続け、ウイルス量の抑制を維持できるようにすることを約束します。

（仮訳：公益財団法人エイズ予防財団）